

赤羽国土交通大臣定例記者会見！

東海道新幹線の運転士が、一時的に運転席を離れたトラブルについて、新幹線の安全神話に陥ることなく検証し、単に運転士個人の問題でなく、会社として再発防止に取り組むことを指示しました

具体的には

- ・体調の優れない者は、乗務させない運行管理を徹底すること。
- ・非常事態に備え簡易トイレを運転席に備え、簡易トイレを運転席に携行できるようにすること。
- ・発作的な体調不良が発生した場合は、躊躇なく列車を止めること。
- ・運転士の他に運転免許を有する車掌を、配置した列車を増やすローテーションが可能かどうか提起しました。

JR 他社へも危機管理についての対処を指示する意向を示した！

運転士が運転席を離れた事は危険なことではありますが、人間として生理現象の限界であれば、仕方ないことでもあります。このような限界であっても、対処できる風土になっていなかったことが、問題であり人権問題であります。そのためにも、国土交通大臣が指示した提起を至急実行するべきです。

赤羽国土交通大臣の再発防止に取り組むためには！

54歳から59歳の出向を中止せよ！

安全運転のためには、運転士の精神的・肉体的に「ゆとり」のある環境作りが必要である。

「安全安定輸送」には運転士の体調管理が絶対である！

福知山線重大事故を教訓に、精神的・肉体的に体調不良時は列車を止める風土に！今日から作り上げて行きましょう！

嘆願書

腹痛で苦しかったです。その苦痛の姿が思い浮かびます。反省していると思います。腹痛は運転士にとって人ごとではありません！このたびは、緊急事態でしたので、注意だけでお願いします。